

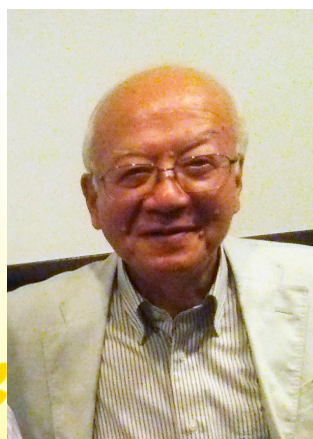


はばたき

第 64 号 【秋号】

発 行
編集責任者
編 集 長

一般社団法人日本経営管理協会神奈川県支部
神奈川県支部長 宮原 汎
石原愛子 TEL : 090-8041-9125
e-mail:ishihara-a@jima.org



「人口知能 (AI)」と

これからの

コンサルティング業務

B.O.S. 経営研究所 所長 関町 肇

昨今、「人工知能 (A I)」の関連で「技術的失業」などということが言われている。職業を単純化して肉体労働、事務労働、頭脳労働と分けて考えてみると機械の導入・改善、パソコンによるシステム化の普及は肉体労働の大きな領域だけでなく事務労働の領域をも大幅に縮めてきているが、コンピューターに知的な作業をさせる人工知能の出現はさらに大きく事務職の残りの領域を縮める時代が来るのではないかとのことである。それだけではなく膨大な情報の知的処理能力の進歩はさらなる複雑かつ高度で専門性の高い分野まで拡大するのではないかとわれ始めている。

経営業務の領域でもいくつかの調査機関の分析と調査によれば高度に専門的な職業である公認会計士や税理士、社会保険労務士の業務でも AI に替される可能性はいずれも 80%以上ある、という報道もされている。夫々の協会では簡単

に AI が代替はできないと言っているけれど。

これらの専門職業は難関といわれる資格試験に合格して初めて開業できる職業である。

従来から会計士、税理士の仕事にも経営のアナログ分野「人間行動」についての相談も領域として広げるべきという考え方もあったようである。 本年の経済学のノーベル賞も計量経済学分野ではなく行動経済学であったことを考えてみるとますますその時代のニーズは高まるように思える。

これからは人間の経営行動、いわばアナログ分野までを活動領域とするコンサルタント業には前述の所謂「さむらい業」の優秀な人材の流入が増え競争も激しい業種になるのではないかとと思われる。

我々の経営管理協会にも一層の高質な研修会が必要とされ期待されるようになるのではないだろうか。



『EVの普及と自動車の将来』

神奈川県支部長 宮原 汎

最近多くの報道で電気自動車 (EV=Electronic Vehicle) が話題になっている。

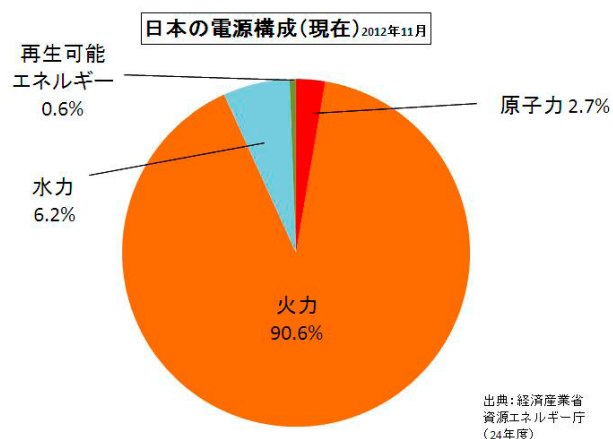
EV は地球温暖化ガスを排出しない環境負荷の小さい自動車として供給されてきたが、昨今では電池や関連部品の技術革新によって走行距離など、その使い勝手に改善がみられる。しかし、走行距離では水を電気分解した水素を使う燃料電池車 (FCV=Fuel Cell Vehicle) が優位であり、数分という水素充填の短さや環境負荷の低さという点においても EV を凌駕している (トヨタ・ミライは 650Km、最新のニッサン・リーフは 400Km)。

現在、EV に充電される電気は火力発電 (電力全体の約 90%) が主流だが、今後は再生可能エネルギーの利用が期待されている。一方、過日報道されたアジアスーパーグリッド構想【モンゴルの広大な砂漠で風力発電を行い、その電力を日本へ送るプロジェクト。ソフトバンクグループが主導、中国・韓国・ロシアの電力事業者も賛同しており、コストも火力発電の半分以下】は、巨大なアジアの送電網をつないだ再生可能エネルギーによる電力供給の夢を提供している。

EV は、急速充電でも数十分かかるが、家庭で夜間に充電が出来、充電拠点数が多く、部品点数や製造コスト、エネルギー効率などの優位性を勘案すると現時点では FCV より利点が多そうだ。そして、世界を見渡せば、仏・英の両国が 2040 年までに内燃機関の新車販売を禁止、ドイツ連邦参議院が 2030 年までに同様の禁止措置を決議するなど、欧州での EV シフトが加速している。さらに米国・カルフォルニア州では ZEV (Zero Emission Vehicle=排出ガスゼロ車) 規制を強化 (HV=ハイブリッド車を ZEV から除外)、加えて世界最大の乗用車市場である中国やインドも技術的ハードルが低い EV, PHEV, FCV への転換政策が進められている。このような動きは、天変地異の頻発やパリ協定で約束した地球温暖化ガスの削減目標達成への対応に加え、自国産業の維持・育成なども意図されていると思われる。

一方、日本ではこうした動向を見据えた新エネルギー車開発に向けた自動車メーカー間の提携が進んでいる。化石燃料の石油を動力源とする内燃機関を搭載した自動車は、先進技術による利便性や経済性、安全性などが更に進化し、今後においてもなお移動手段の中心になることが予想される。

また、将来、AI や IoT の更なる進化が自動運転やカーシェアリングなど、自動車の使い方に多くの選択肢を提供していることだろう。



『長岡大学に着任して～教育に対する抱負～』



長岡大学 経済経営学部 専任講師 平田沙織

した。大学教員としては、これまで神奈川と東京の4つの大学で「財務会計論」や「簿記」、「経営分析」、「管理会計」、「原価計算」等の会計系の科目を幅広く教えておりました。幅広い科目を担当できたことで教員として成長できたと思います。

「会計」と聞くと難しいイメージを持つかもしれませんが、しかし、会社がいくら使っていくら儲けたのかを知るためには、どんなに小さな会社でも会計（簿記）が必要です。つまり、会計を学べば会社を知ることができます。

現在、社会人の3種の神器は「会計」「英語」「IT」と言われています。会計の知識が就職活動で役立つことはもちろん、社会人になってからも昇進の条件になっています。これは、従業員にも経営者の目線を持つことが求められているからです。

大学生は、時間的な余裕も学ぶための環境も整っています。恵まれた環境を活かして会計を勉強し、学んだ証としてぜひ資格取得にチャレンジしてほしいと思います。私は、会計が苦手な学生のために、苦手意識が払拭できるような講義を目指し、資格取得を全力でサポートしたいと思います。

今後も精進していきたいと思いますので、会員の皆様ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

私は、本年の4月から長岡大学経済経営学部の専任講師として着任しました。長岡大学は、悠久山の麓にあり、新潟県内の就職率が90%を超える地域密着型の大学です。私の専門分野は、会計（特に財務会計）ですので、会計について指導しています。また、組織の情報開示（統合報告書）について研究しています。

元々は、高校生の頃アパレルの会社を起業し苦労した経験から、経営学に興味を持ち大学と大学院に通いました。大学や大学院では商売の基本となる会計や経営戦略を中心に勉強しました。また、会計分野だけではなく、起業家が集まる勉強会や講演会に積極的に参加し、飲食店等の経営アドバイザーも経験しました。

大学院博士課程を修了し博士号を取得後、他大学での講師を経て長岡大学で教鞭をとることとなりま

神奈川県支部研修スケジュール (2017 年度)

日時	研修内容	研修場所
12 月 16 日 (土) 14:00 ～ 17:00	「ワークスタイルの変革」～業務改革や IT 改革の側面からみた実現方法について～ 講師：下村宏	万国橋会議センター
1 月 20 日 (土) 14:00 ～ 17:00	「働き方改革」とブラック企業、モンスター社員 講師：山田宏昌	神奈川近代文学館
2 月 17 日 (土) 14:00 ～ 17:00	現場から実践経営 講師：関町 肇	神奈川大学横浜キャンパス
3 月 17 日 (土)	吟行（桜見物）	神奈川県内



俳句を詠む

季題 〈秋〉

小春日の陽だまりのなか柿を干す
秋桜は山口百恵が良く似合う

石井 渙

宿題を終える楽しみ栗ごはん
銀杏を拾う人湧くみなと町
秋薔薇くれない色の美しき

宮原 汎

蟋蟀^{こあひで}や凄まじきまで夜の路
タワビルに夕日の鶴瓶落としかな
いずれ行く想い抱きて茄子の馬

山田 宏昌

古着着てすまし顔する案山子殿
松手入鉢がおどる昼下がり
観戦のテレビ機敷や今年酒

照屋 雨鵬

木屋の香や本堂を浴すほど
秋澄むや調経^{ふぎん}の僧の朗々と
病なる恩師へ便り秋白し

石原 愛子

俳句の疑問を解決します！

「季語がうごく」ということについて教えてください。

季語と季語以外の部分との結びつきに必然性を感じられない、ということです。先人の名句を例にとって、考えましょう。

桐一葉日当りながら落ちにけり 虚子

滝の上に水現れて落ちにけり 後藤 夜半

このような句は季語がうごく余地がありません。季語自体を詠んでいるからです。もちろん多くの俳句は季語と何かの取り合わせで成り立っています。その場合も一句の中心は季語なのです。季語以外の何かが先にあって後から季語を置こうとすると、どの季語にしようかと迷いがちです。一句の出発点が季語だと考えれば迷うことはありません。

(『俳句のギモンに答えます』岸本尚毅著より抜粋)



編集後記

いしはら あいこ

長年使っていた愛用のカメラのレンズが壊れてしまった。JIMAの研修会やイベント、紅葉の季節をシャッターに収めたいと思っていた矢先のこと。▼早速、某大手家電量販店に修理を依頼した。最近、修理の期間や見積もりなど修理の状態は電話ではなく、メールで送ってくれるようになっている。WEBサイトでも見ることができ、ITサービスの合理性に心地よさを感じた。▼しかし、一週間経っても、二週間経っても何の音沙汰がなく、だんだんと心配になってきた。痺れを切らした私は「電話」で修理の様子を聞いた。▼担当者曰く、「メールがないということは、まだ修理中ですね」「あのお～、もう2週間以上経ってるんですけど、何の連絡もないんですよ。〇〇カメラさん、そんなサービスをされてましたっけ」「こちらでは分かりませんので、修理サービスに電話してください」「…」私は怒りの沸点に達して、「もう、修理しなくていいですから、商品返してください!」「わかりました」▼ITの合理性とは何か。ITサービスは心まで奪ってしまったのか。AIロボットに教育をしてもらわなければならない時になったのか。(愛)